昭和51年度本校における教育実習指導の概要

研 究 部

昭和51年度 本校における教育実習指導の概要

I 教育実習指導の概要

(1) 第1次オリエンテーション

4月24日(土)

(2) 第2次オリエンテーション

5月8日(土)

本 校

(3) 授業参観並びに指導準備

5月10日(月)~5月15日(土)

(4) 本 実 習

5月17日(月)~6月12日(土)(4週間)

出勤日数 24日(日曜・祭日を除く)

B 文・理・教育・農学部教育実習 (Ⅱ期)

(1) 第1次オリエンテーション 6月19日(十) 大

(2) 第2次オリエンテーション 6月26日(土)

(3) 授業参観並びに指導準備 9月1日(水)~9月6日(月)

(4) 本 実 習

9月7日(火)~9月27日(月)(3週間)

出勤日数 16日(日曜・祭日を除く)

C 教育実習参加教生数

教	科	国	語		社		会		数学	理		科		保体	芸		術	技術	外語	合 計
科	目	国	漢	倫	政	日	世	地	"	物	化	生	地	"	美	工	書	"	英	
() () () () () ()	数	11	4	3	6	8	5	6	18	6	11	11	5	11	5	3	2	2	13	130
	。 女	1	.5			28		(.	18	1		33		11		10	8	2	13	130

本年度の教育実習参加者数は、前年度の129名を更に上回って130名、これは本校創設以来の最 大多数で、本校受入れ数の極限状態であった。従って、配当数が特に多かった社会科・理科での 受入れは甚だ困難であったが、幸い各教官の創意工夫と理解ある協力によって、さしたる混乱も なく所期の目的を達成することができた。

また、教生諸君も従前に増して真剣で、旺盛な研究意欲と謙虚な態度で積極的に実習に参加し た。しかし、本年度も就職試験や大学院入試の時期に重なって、止むなく数名の欠席 者 を 出 し た。中でも物理の教生(1名・大学院入試のため)は、実習時間数の不足のため後日追加実習を 行ったほどである。この現状から推して、実習の時期は一考を要する。後に示したアンケート(4) によれば、79%の学生が4~6月月の間に実施することを希望している。

教育実習を履修した学生は、全員所定の単位を修得したものと判定された。

A 123名 (94.6%) B 7名 (5.4%) C なし

※ (社会3名・数学2名・保体2名)

Ⅱ 教育実習に関する調査

教育実習終了後、今後の実習指導の参考に資するため、Aアンケート(1)~(8)の事項に回答を求 め、B実習後の体験に基づいた所見を書かせた。その結果は次の通りである。

A 教育実習生に対するアンケート

○アンケート提出者数

教	科	国 語	社 会	数学		保体	芸 術	技術	外国語 (英)	合 計
枚	数	15	26	18	31	11	10	2	13	126

(未提出者 社2・理2)

(1)ア、教職について啓発的な経験を(①非常に得た。②考えさせられた。③全く得られなかった)

教科 結果	国語	社 会	数学		保体	芸 術	技術	外国語 (英)	合 計	(%)
1)	10	9	4	19	5	5	1	6	59	(46.8)
2	5	16	13	12	5	5	1	7	64	(50.8)
3	0	1	1	0	1	0	0	0	3	(0.2)

イ,教職に対して意欲と使命感を(①強く感じた。②考えさせられた。③余り感じなかった)

(;	教科 結果	国語	社会	数学	理科	保体	芸 術	技術	外国語 (英)	合 計	(%)
	1	7	9.	8	10	4	5	. 1	7	51	(40.5)
	2	8	14	9	19	6	5	1	6	68	(54.0)
	3	0	3	1	2	1	0	0	0	7	(0.6)

ウ、生徒に対する理解を(①大いに得た。②多少得た。③余り得られなかった。)

			35 ST 15	4	- 12		11 11 114 14	279 July 18 18	54.4	CONTRACTOR
教科 結果	国語	社 会	数学	理科	保体	芸 術	技術	外国語 (英)	合 計	(%)
1	3	2	2	5	2	3	1	7	25	(20.0)
	11	23	13	20	7	7	1	6	88	(70.4)
	1	1	3	5	2	0	0	0	12	(0.9)
		5000	PROPERTY.			100	1 - 20 1	(無記)	八者 理1)

エ,教科に関する専門的知識・技能など(①大いに得た。②多少得た。③余り得られなかった)

教 結果	科	国	語	社	会	数	学	理	科	保	体	芸	術	技	術	外国語(英)	合 計	(%)
1. d = 1. d = 1.	1.8		5	1	1		3	1:	2		3 🕒		3		L B	1 1	45	(36.0)
(ARI2)			9 î	1	4	1:	2	1′	7		7		6	-	Lii	5	71	(56.8)
3 3			1 0		1	;	3 ()		1 0		1 0		1 .	() 11	1	9	(7.2)

(無記入者 理1)

オ, 教職につく(①自信が大いについた。②自信はまだ持てなかった。③自信を失った。)

教科 結果	国 語	社会	数学		保体	芸 術	技術	外国語(英)	合 計	(%)
1	3	6	6	10	2	6	1	2	36	(28.6)
2	9	19	10	18	9	4	1	11	81	(64.3)
3	3	1	2	3	0	0	0	0	9	(7.1)

(2) あなたは、将来教職につく志望がありますか。次の(ア~ウ)に○をつけなさい。

ア, 教職を志望している。イ, 教職以外を志望している。ウ, まだ, 教職につくか, 他の職業につくか決めていない。

教科 結果	国 語	社 会	数学	理科	保、体	芸 術	技術	外国語 (英)	合。計	(%)
T	13	11	7	14	7	6	0,	10	68	(54.0)
1	1	6	7	7	0	1	1	1	24	(19.0)
ウ	1	9	4	10	4	3	1	2	24	(27.0)

(3) 上記(2)の問いのアに○を付けた者は、教職を、次のどれを望んでいますか。次の(ア~オ) に○をつけなさい。

ア,大学 イ,高校 ウ,中学 エ,小学校 オ,その他特殊学校

教科 結果	国語	社 会	数学	理科	保体	芸 術	技術	外国語 (英)	合計	(%)
ア	2	1.	134 1 -7	\#\ 1 \#	3	1 N	0.0	1	10	(14.7)
1	10	7	4	7	4	5	10-10	2 7 J	44	(54. 7)
ウ	1	3	2	6	0	46 °O	# # 0	2	14	(20.6)
I	0	0:27	0	# 6 0 ≥ 1	0	0	0	2	0	(0)
オ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0)

(4) 教育実習時期は、次のどの時期が適当と思いますか。次の(ア〜エ)に \bigcirc をつけなさい。 ア、4月~5月 イ、5月~6月 ウ、9月~10月(現行) エ、その他

教科 結果	国語	社会	数学	理科	保 体	芸 術	技術	外国語 (英)	合 計	(%)
r	2	2	1	9	1	2	0	0	17	(13.5)
10 37 6	9	18	12	20	8	7 8	1	8	83	(65.9)
ウ	4	6	3 8	2	2	1 ::	1	5	24	(19.0)
I I	0	0 0	2	0	0	0 %	0	0	2	(0.2)

(6月~7月)

(5) 教育実習期間は、次のどの期間が適当と思いますか。次の(ア~エ)に○をつけなさい。

ア, 2週間 イ, 3週間(現行) ウ, 4週間 エ, その他()

※エに○印をつけた者は、適当と思う期間を()内に書きなさい。

教科 結果	国語	社会	数学	理科	保体	芸 術	技術	外国語 (英)	合 計	(%)
(1) T	1	3 ,	· 2	3	1	1	0	0	11	(8.9)
1	10	16	10	16	4	8	2	9	75	(61.0)
ウ	4	7	6	8	6	1	0	4	36	(29.3)
エ	0	0	0	1	0	0	0	0	1	(0.8)

(5週間)

(無記入者 理3)

- (6) 他校参観について思ったこと, (ア~ゥ)に○をつけなさい。
- ア,非常に参考になった。 イ,多少参考になった。 ウ,余り参考にならなかった。 ※○をつけた事項については、そう思った理由を書きなさい。

教科 結果	国 語	社 会	数学	理 科	保体	芸 術	技術	外国語(英)	合 計	(%)
7	5	5	4	12	. 5	6	2	4	43	(34.4)
1	9	20	10	13	6	4	0	7	69	(55. 2)
ウ	1	1	4	5	0	0	0	2	13	(10.4)

(無記入者 理1)

- (理由)① 一般的な学校を参観することは、教育感覚をつかむのに役立った。
 - ② 生徒の質、校風の違いによって授業の進め方の違いを知った。
 - ③ 現場の教師の授業と自分の授業とを比べて考えさせられた。
 - ④ 男女共学校の典型的な都立高校の雰囲気を感じた。
 - ⑤ 一校だけでなく、もっと多くの学校を参観したかった。
- (7) 研究授業、研究会について思ったこと、(ア~ウ)に○をつけなさい。
 - ア,非常に参考になった。 イ,多少参考になった。 ウ,余り参考にならなかった。 ※○をつけた事項については、そう思った理由を書きなさい。

紀	教科 i果	国語	社 会	数学	理科	保体	芸 術	技術	外国語 (英)	合 計	(%)
	ア	10	4	5	9	3	5	2	8	46	(36.5)
	1	4	15	8	14	5	5	0	5	56	(44. 4)
_	ウ	1	7	5	8	3	0	0	0	24	(19.0)

- (理由)① 自分では気づかなかった視点を見出すことができた。 ことには
 - ② 授業形態,教材の取り扱い方等人によって違うものだと痛感した。
 - ③ 多くの先生方から様々な意見を拝聴し、大変ためになった。 湯・富る点
 - ④ 講評会の時間を、もう少し長くかけて欲しかった。 はいまままます。
 - ⑤ 人の授業を客観的に観察し、討論の中で認識を深めることができた。
- (8) 学校行事や特別活動参加について思ったこと、次の(ア~ウ)に○をつけなさい。

教科 結果	国 語	社 会	数学	理科	保 体	芸 術	技術	外国語 (英)	合 計	(%)
ア	2	8	4	7	6	0	1	5	33	(26.4)
1	7	9	8	13	3	5	1	6	52	(41.6)
ウ	6	9	6	10	2	5	0	2	40	(32.0)

(無記入者 理1)

B 教育実習後の所見

- (1) 教育実習前に、いろいろ事前指導がありましたが、実習を体験して事前にもっと力を入れて指導して欲しかったことがありますか。次の事項について簡潔に書きなさい。
- 11. 第1次オリエンテーションについて非、ACA 3個、編書 FLASS ASSERTA 6020
 - ○午前の部の概論的な話は、余り印象に残らない。もっと簡潔にして欲しかった。 18人
 - ○実習記録の「その一」・「その二」、「参観記録」の書き方、事務的手続など具体的事
 - 項について詳しく説明して欲しかった。最前によると、「最大」とは記述は関する
 - ○午後の部の中等教育の実際については、大変参考になった。
- □ 8 ○英語料の中・高別の指導は、その理由がわからない。一つにまとめて欲しい。 2
 - 12. 第2次オリエンテーションについて No. Selector To 12. Place To 12. P
 - ○学校の様子が事前によくわかって、大変役立った。 14人
 - ○生徒の学習状態や生活の実態を、もっと具体的に話して欲しかった。 4

 - ○授業の形態やその効果について、詳細な説明が欲しかった。 『湯子』論の第四 3

3	3. 教科指導について	
	○大変懇切な指導で大いに満足している。	12人
	○指導案の作成について、もう少し説明して欲しかった。	3
	○教える際のポイントのおき方などについて、もっとアドバイスして欲しかった。	2
	○どの程度の内容が生徒に適当なのか、判断に苦しんだ。	3
	○実習前の授業参観の回数を増やして欲しい。	3
	○同一教科の他の指導教官の授業も参観したかった。	2
4	4. 特活指導について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	○許される範囲で大いに参加したかった。資本を表現した問題を受ける。	8人
	○生徒とのつながり、接触の機会を与えて欲しかった。	4
	○教生全員をホーム・ルームに配当してはどうか。	,3°
	○ホーム・ルーム活動を参観したあと、もっと話し合いをして欲しかった。	3
	○オリエンテーションで、特活に関する詳しい話をして欲しかった。	2
	○教科指導で精一杯の感じ。特活まで手を出す余裕はなかった。	6
(2)	教育実習後に、いろいろ感じたことがあると思います。次の事項について簡潔に書き	きなさ
1		
٠.	1. 教生として,特に強く感じたこと。	
t i	○教えることのむずかしさを痛感した。	12人
	○日頃の勉強不足を反省するよい契機になった。	6
	○正確な基礎知識がいかに大切であるか、よくわかった。	4
	○生徒の反応を巧みに引き出すことが大変むずかしい。	3
	○貴重な体験で、余裕のある授業ができるようになった。	3
	○教えた内容がどれだけ生徒に通じたか、非常に不安である。	3
	○教材研究がいかに大切であるかがよくわかった。	2
	○周到な教案を作って、自信をもって教えられたときは本当に愉快だ。	2
	○視聴覚機器がよく整っているが、有効に利用することがむずかしい。	2
	○大学の研究部門と実践場面とのギャップが大き過ぎる。	2
	2. 本校の生徒に対して感じたこと。	
	○授業中に私語が多すぎる。また、ホーム・ルームや集会でも同様。	8人
	○授業に対して熱心、頭のよい生徒が揃っている印象が強い。	4
	○受験校というイメージで想像していたが、意外に解放的である。	4
	○予想していたよりも子供っぽい。明るくてのびのびしている。男子校のせいか。	3
	○協調性に欠ける生徒が多く,クラスの連帯感が薄いように思われる。	3
	○自我の強い生徒が多く、他の生徒への思いやりが足りない。	3
4.4	○生徒の自主性をのげそらとする学校の古針は成功しているとらだ	9

	○自由を基調とする校風はよいが,多少はき違えている生徒もいるようだ。	2 人
	○学校での生活面において、もう少し規律があってもよいのではないか。	2
	○生徒,先生ともども少々自意識過剰気味,よい面とも悪い面とも言える。	2
(3)	希望事項について	
	○授業の単元のテーマについて、教生に自由に選択させて欲しい。	4 /
	○授業外のホーム・ルーム、クラブ活動などの指導に参加させて欲しい。	4
	○授業以外に生徒に直接ふれられる機会を与えて欲しい。	4
	○指導案の作成は別として、事務的手続きはもっと簡単にして欲しい。	4
	○指導案についての批判や、授業後の批評をもっと厳しくして欲しい。	3
	○受持時間数を、できるだけ平均的に配当して欲しい。	2
	○廊下、階段等の汚れが目立つ、教室も殺風景だ。	2
	○教育大学の付属校としての目標が見失われている。入試法を考えるべきだ。	2
	○教生期間中だけでも女子用洗面所を設けて欲しい。	2
	○印刷の手の汚れを洗うため,水道の場所に石けんを置いて欲しい。	2